

## 第2節 再生可能エネルギーの導入促進

## 1 本県の地域特性を生かした再生可能エネルギーの普及促進

## 【現状と課題】

削減目標の達成に向け、エネルギー供給面においても温室効果ガスの削減効果の高い対策を実施する必要があります。

日照時間が長いという本県の地域特性及び国等の補助制度、電力固定価格買取制度等により、太陽光発電の導入が進んでいます。このうち、住宅用太陽光発電システムの設置件数は、平成6年度から平成24年度までの累計で導入件数は約42,600件となっています。(太陽光発電普及拡大センター等調べ)

また、本県は豊富な森林資源を有しており、バイオマスを活用した発電・熱利用も進められています。

さらに、本県では、RDF<sup>13</sup>による廃棄物発電を行う「福山リサイクル発電事業」を推進しており、平成24年度発電量は約114百万kWhとなっています。

県内のクリーンエネルギー自動車の普及については、ハイブリッド車を中心に41,481台の登録があります。(平成24年3月末現在、中国運輸局調べ)

## 【環境の状態等を測る指標】

指標項目 (内容)	単位	基準年度値 (H20)	現状値 (H24)	目標値	目標年度
太陽光発電導入量	kl (原油換算)	7,188	24,252	64,000	H32
太陽熱利用システム導入量		42,127	—	50,700	
バイオマス発電導入量		66,459	—	97,000	
バイオマス熱利用導入量		297,803	—	385,500	
廃棄物発電導入量		22,451	—	61,300	
廃棄物熱利用導入量		28,551	—	110,300	

## 【取組状況】

## (1) 太陽光、バイオマスなど再生可能エネルギーの普及促進

## ア 住宅用太陽光発電等普及促進事業[環境政策課]

地球温暖化防止の一環として、また、地域経済の振興にも資するため、豊富な日射量等の本県の地域特性を生かした再生可能エネルギーの普及促進を図ります。

【平成24年度実績】平成23年度設置した「広島県再生可能エネルギー推進構想（仮称）検討会」において、①住宅用太陽光発電の普及拡大、②電力買取制度の不公平性の緩和等の複合的な効果が見込める施策として、住宅用太陽光発電基金事業の実施が提言されました。

13 RDF: Refuse Derived Fuel (ごみ固形燃料) の略。ごみに含まれる厨芥・紙などを乾燥・粉碎して石灰などを混ぜ、クレヨン状に成形加工した固形燃料のこと。

県では、提言内容を踏まえ、事業の実施可能性を検討した結果、パネル価格の急激な低下により①基金事業の採算性の確保が困難となること②一方で住宅用太陽光発電の設置が進んでいることから、基金事業の実施を見送ることとしました。

また、検討会において、重点分野として位置づけられた「事業用太陽光発電」、「木質バイオマス発電」、「小水力発電」について、引き続き「広島県再生可能エネルギー推進検討会」を平成24年5月に設置し、検討を行いました。

検討会では、構成員全員による全体会議のほか、分野ごとにワーキング会議を設置して、より詳細な検討を進めました。

### イ 地域還元型再生可能エネルギー導入事業〔環境政策課〕

再生可能エネルギーの普及拡大を図るため、県と中国電力グループが共同して、メガソーラー発電の事業化に取り組んでいきます。

なお、発電事業によって得られる収益は、地域に還元していきます。

【平成24年度内容】県と中国電力グループで、事業主体となる「ひろしま再生可能エネルギー推進有限責任事業組合」を設立し、発電事業に係る諸手続きを行いました。

【平成25年度内容】実施を予定している県内3ヶ所（庄原市、竹原市、東広島市）において、準備が整ったものから順次、工事に着手します。

### ウ 森林整備加速化・林業再生基金事業〔林業課〕

木質バイオマス発電の燃料供給コストの低減を図るため、燃料化（チップ化）の拠点施設整備に対する支援を行います。

【平成25年度内容】土場（原木集積等）、破碎機（チップ製造機）等の整備を予定

### エ ダム小水力発電推進事業〔農業基盤課・河川課〕

ダム管理の合理化をはじめとして、ダムに潜在する水力エネルギーの有効活用を図るため、福富ダム及び三川ダムにおける河川維持流量等のダム放流水を利用したダム管理用水力発電を推進します。

【平成25年度内容】ダム管理用水力発電施設に係る調査・設計等を行います。

### オ 県営住宅整備事業〔住宅課〕

高い省エネルギー性能を有する県営住宅を供給することにより、地球温暖化対策に努めます。

【平成24年度実績】建替えを行う県営住宅において、より高い省エネ水準とすると共に、太陽光発電システムを導入する等、先導的な取り組みを進めました。

【平成25年度内容】建替えを行う県営住宅において、より高い省エネ水準とすると共に、太陽光発電システム導入についても検討を行います。

※ 関連事業：環境に優しい水素自動車導入事業（P9）、福山リサイクル発電事業の推進（P23）、工業用水道事業・水道用水供給事業（P94）